

Logo

# 月周回衛星検討プロジェクト

東京大学 草川 靖大  
創価大学 山本 典子

## プロジェクトの発端

- ESAがさまざまな大学から集まった学生たちで月周回衛星を作ることを計画し、現在概念検討(Phase A)を行っている。
- ESAからJAXAに対し、日本でも同じように、インターカレッジで月周回衛星の開発を行わないかと提案

## プロジェクトの目的(1)

- 月周回衛星についての概念検討を行い、現在の制限(極軌道、最大重量100kg、2011年ごろ打ち上げ、月までの輸送手段はロケット)どのようなミッションを行うことができるかを実際に提示できる
  - － 今まで地球周回低軌道衛星は数機打ち上げられているが、低軌道より離れた軌道の衛生に関する検討は行われていなく、従来とは違った成果を期待できる

## プロジェクトの目的(2)

- インターカレッジ間の衛星プロジェクトに必要な仕組みを把握することができる
  - ロケットプロジェクトに関しては大学間での交流が盛んだが、衛星プロジェクトは今まで協調というよりもむしろ競争で成り立ってきた。協調/競争にはそれぞれにメリットがあり、協調の道を探ることができる

## スケジュール

- 大きなマイルストーンとしては、12月のUNISEC WORKSHOPにおいて、ミッション検討を終える
- WORKSHOPの後、より詳細に衛星の概念検討を行う

## 予算について

- 交通費:10万円
- 研究費(書籍など):10万円